

給食(昼食)後の歯みがきに兆しが

吹田市歯科医師会では、これまで学校での「給食(昼食)後の歯みがき」を推奨してまいりました。しかしながら、平成12年度に実施した生活習慣調査の結果、給食(昼食)後に歯みがきをしている子どもの割合は、小学3年生で12%、5年生で7%、中学2年生ではわずかに1.6%にすぎませんでした。

ところが、毎年行っている「むし歯予防キャンペーン」の応募作文の中で、一昨年はある小学校で「歯みがき隊」の活動があることを知りました。これは、仲間3人が「歯みがき隊」という会を結成し、会員を募って皆で楽しく給食後の歯みがきを行っているというものでした。そこで昨年、学校における歯科保健活動の実態調査を行ったところ、自主的に「給食(昼食)後の歯みがき」活動をしているグループがあちこちの学校で自然発生的に出現していることがわかりました。どうやら、明るい兆しが見えはじめてきたようです。

このような子どもたちの自主的な活動も、楽しく歯みがきができる雰囲気作りを先生方がしてくださっていることがうまくいっている大きな要因であるようです。

先生方が歯みがきしている子どもたちを、「がんばっているね」と褒め励ましてくださることや、教室での話題に取り上げていただくこと、そして先生方が率先して「給食(昼食)後の歯みがき」のお手本を見せてくださること、このような事が「給食(昼食)後の歯みがき」達成への近道となり、ひいては自主的な健康管理の育成につながっていくのではないのでしょうか。

